

2019年の夏は「学校×熱中症ゼロへ」 熊谷市立奈良中学校で熱中症対策授業を実施



日本気象協会が推進する「熱中症ゼロへ」プロジェクトは、2019年5月14日(火)に埼玉県熊谷市内の中学校(熊谷市立奈良中学校)にて、熱中症対策授業を行いました。

授業では、気象予報士が熊谷市はなぜ暑くなるのかを地形や気象現象の解説を交えて紹介したほか、今年の夏に予想される天候について説明しました。

授業後は、ラグビー部の生徒たちが部活動の練習を行う屋外グラウンドで「黒球付熱中症計」を使用しました。ラグビー部の部長が「黒球付熱中症計」の表示内容を記録用紙に記入し、熱中症のリスクを可視化しながら部員と共有することで、熱中症対策に活用しました。

「熱中症ゼロへ」プロジェクトは、学校での熱中症予防を2019年の注力テーマとしています。学校生活では、体育の授業や部活動の他、遠足や登山などの校外学習でも熱中症にかかる可能性があります。本プロジェクトでは正しい熱中症対策の知識を呼びかけていくとともに、学校生活の中で注意すべきシーンや対策法について定期的な情報発信を行っていきます。

「熱中症ゼロへ」プロジェクトとは、熱中症にかかる方を減らし、亡くなってしまおう方をゼロにすることを目標として、日本気象協会が2013年から推進するプロジェクトです。



ラグビー部での黒球付熱中症計使用の様子



熊谷市立奈良中学校での熱中症対策授業の様子



この情報に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。

<https://www.netsuzero.jp/>

日本気象協会「トクする！防災」プロジェクト 2019年度の活動を開始 ～新たにiTSCOMと共同制作の防災テレビ番組をスタート！～

日本気象協会は、いざというときに自然災害から身を守るために、普段の防災意識を一層高めていく啓発活動「トクする！防災」プロジェクトの2019年度の活動を4月15日(月)から開始しました。

あらたに展開する活動内容として東急電鉄沿線エリアでケーブルテレビ事業を展開しているイツ・コミュニケーションズ株式会社と共同制作した防災テレビ番組「ぼうさいカフェトーク」が4月から始まりました。番組では、防災の

専門家を招き、普段から気軽に取り組める防災の話など伺ってまいります。

■放送予定

イツコムチャンネル11.(地デジ11ch)

・毎週木曜 21:30～21:45/毎週土曜 17:30～17:45



この情報に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。

<https://www.jwa.or.jp/news/2019/04/post-001162.html>

日本気象協会の最新事業のご紹介

Contents1

小売業向け商品需要予測サービス「売リドキ!予報」を提供開始
～550カテゴリ以上の指数を安価に販売～

Contents2

日本気象協会 tenki.jpラボvol.17
平成30年間に日本気象協会でも働いた気象予報士が振り返る「平成の災害」

Contents3

海運・造船・海洋開発向け気象海象サービス「POLARIS」
日本国内向け正式版のAPI提供を開始しました
～高品質な過去解析値提供サービス「POLARIS Hindcast」から開始～

Contents4

日本気象協会、台湾の「Civil IoT Taiwanプログラム」に業務協力
推進チームと覚書、海外企業として初の参画

Contents5

2019年の夏は「学校×熱中症ゼロへ」
熊谷市立奈良中学校で熱中症対策授業を実施

Contents6

日本気象協会「トクする!防災」プロジェクト 2019年度の活動を開始
～新たにiTSCOMと共同制作の防災テレビ番組をスタート!～

Contents1

2019.04.23発表

小売業向け商品需要予測サービス「売りドキ！予報」を提供開始 ～550カテゴリ以上の指数を安価に販売～

日本気象協会は、小売業向けの商品需要予測サービス「売りドキ！予報」関東版の提供を2019年4月23日(火)から開始しました。

「売りドキ！予報」は、日本気象協会が気象条件に伴い予測した商品需要のレベルに基づいて設定した7ランクの指数情報と気象情報、販促カレンダー(MDカレンダー)を搭載

したWEBサービスです。商品を550カテゴリ以上に細かく分けた「スタンダード」(月額7万円～)と、約120カテゴリに分けた「ライト」(月額5万円～)の2プランを販売しています。今夏には全国版を販売する予定で、2019年度内に100店舗、3年後には約1000店舗での導入を目標に、サービス展開していきます。

■「売りドキ！予報」の特長

■(1)数百カテゴリの指数情報

過去の気象データとPOSデータを解析し、[惣菜][青果][精肉][鮮魚][日配][グロサリー][日用品]の分野に含まれる数百カテゴリについて、気象条件に伴う売上傾向を予測した指数情報です。カテゴリの数はプランにより異なります。

■(2)月額5万円～という価格設定

月額5万円～のプランを提供し、従来の個別コンサルティングサービスに比べて、中小規模の小売業も導入しやすい価格設定が特長です。

■(3)豊富な情報量

需要予測指数のほかに、日本気象協会ならではの気象情報・体感指数、さらには暦・記念日などのMDカレンダーを搭載しています。

■(4)使用場面が多面的

発注作業やインスタ加工、棚割や販促などの参考情報として活用いただけます。慢性的な人材不足の中、パソコンやタブレットから同時に複数の従業員が確認でき、経験の浅い従業員も「売りドキ！予報」を確認することで、気温変動による売上傾向をあらかじめ予測することが可能になります。

■「売りドキ！予報」のサービスロゴ



■「売りドキ！予報」画面イメージ



このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。
<https://www.jwa.or.jp/news/2019/04/post-001167.html>

Contents2

2019.04.22発表

日本気象協会 tenki.jpラボvol.17 平成30年間に日本気象協会働いた気象予報士が振り返る「平成の災害」

日本気象協会は、天気予報専門メディアtenki.jp内の「tenki.jpラボ」にて、2019年4月22日(月)から気象予報士が振り返る「平成の災害」を公開しました。



このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。
<https://www.jwa.or.jp/news/2019/04/post-001165.html>

Contents3

2019.05.10発表

海運・造船・海洋開発向け気象海象サービス「POLARIS」日本国内向け正式版のAPI提供を開始しました ～高品質な過去解析値提供サービス「POLARIS Hindcast」から開始～

日本気象協会は、海運・造船・海洋開発向け気象海象サービス「POLARIS」(ポラリス)※日本国内向け正式版の提供を、2019年4月16日(火)から開始しました。

「POLARIS」は海運会社や造船所、海事関係の研究機関、船用機器メーカー、海洋開発事業社などを対象とした、海洋総合気象海象サービスです。2019年3月から日本国内向け試用版サービスの提供を行い、利用企業の方々からのご意

見を伺いました。その後改良を加え、4月16日(火)から、地球全球の気象海象データ(推算値)を航路に紐付けてAPI(アプリケーション・プログラミング・インターフェース)にて提供するサービス「POLARIS Hindcast(全球メッシュ版)」を正式に提供開始しました。

※「POLARIS」は、Precise Ocean data LibARy and Intelligent Serviceの略称です。

■「POLARIS Hindcast」の特長

- 過去30年にわたる、全球をカバーした高品質なデータ
- 実績航路や計画航路などの航路に紐付けたデータを提供
- 月額3万円からの従量課金制(利用のない月は請求は発生しません)
- 豊富なデータ要素

■ターゲットと想定されるサービス内容について

船舶事業者向け:実航路/計画航路燃費
造船事業者向け:実海域中の性能解析
港湾/沿岸/外洋関連事業者向け:任意の指定ポイントでの気象海象データ

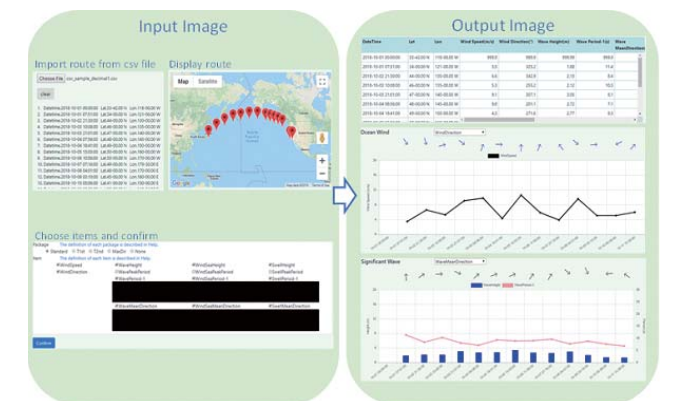
■提供方式

APIにて提供
(Webサービスからダウンロード/システムコールでの利用)

■「POLARIS」のサービスロゴ



■「POLARIS Hindcast」画面イメージ



Contents4

2019.04.11発表

日本気象協会、台湾の「Civil IoT Taiwanプログラム」に業務協力 推進チームと覚書、海外企業として初の参画

日本気象協会は、台湾の「Civil IoT Taiwanプログラム」への参画に伴い、台北市内で2019年4月10日(水)本プログラム推進チームと双方の業務協力に関する覚書を締結しました。本プログラムにおいて、台湾企業以外の海外企業が業務協力するのは、日本気象協会が初めてです。



調印式の様子

このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。
<https://www.jwa.or.jp/news/2019/04/post-001159.html>